

# 令和6年度 新冠町の予算

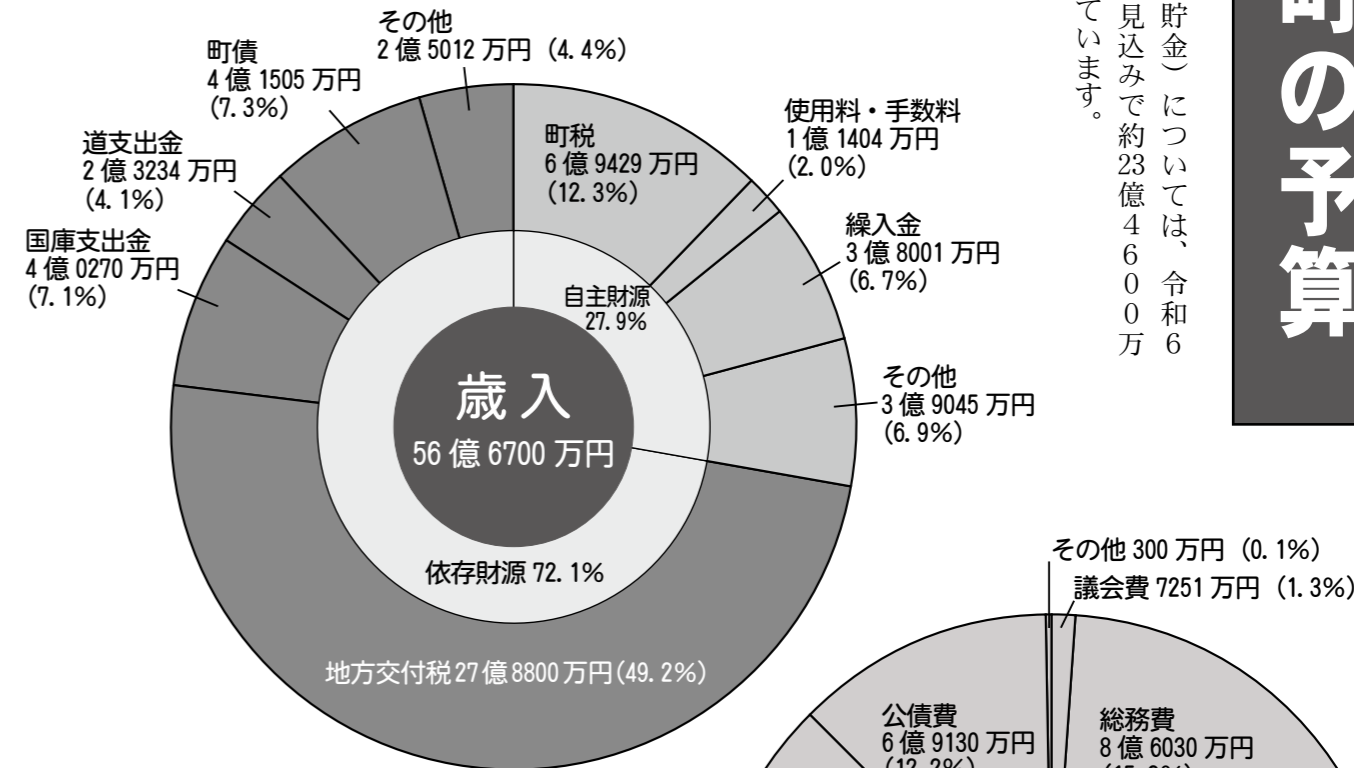
令和6年度の一般会計予算総額は56億6700万円となっております。前年度当初予算に対し、4億4300万円増額しています。

基金（貯金）については、令和6年度末の見込みで約23億4600万円となっております。

歳入予算では、自主財源であります町税については、入湯税について減収を見込んでおりますが、他税目においては増収を見込んでおり、町税全体では前年対比1.0%の増となっております。また、最も大きな割合を占める地方交付税のうち普通交付税については、令和6年度地方財政計画や近年の交付実績を考慮し、前年度当初予算と同額を見込んでいます。歳出予算では、令和5年度当初予算と対比し8.5%の増となっております。財政収支や将来負担の見通しを見据え、投資的経費につきましては、緊急度や優先度の高い事業について予算計上しています。

令和6年度各会計予算総括表			
会計名	今年度予算額	前年度予算額	前年度比増減率
一般会計	56億6700万円	52億2400万円	8.5%
国民健康保険特別会計	8億1969万円	8億5036万円	△3.6%
後期高齢者医療特別会計	9332万円	8869万円	5.2%
介護サービス特別会計	3億0457万円	3億0396万円	0.2%
国民健康保険診療所特別会計	5億7139万円	4億8521万円	17.8%
特別会計合計	17億8897万円	17億2822万円	3.5%
簡易水道事業会計	3億8986万円	2億5312万円	54.0%
下水道事業会計	2億7181万円	2億0132万円	35.0%
企業会計合計	6億6167万円	4億5444万円	45.6%
新冠町合計	81億1764万円	74億0666万円	9.6%

## 一般会計項目別内訳



基金（貯金）の残高（一般会計分）	
R3年度末	20億8876万円
R4年度末	23億8989万円
R5年度末	25億7762万円（見込）
	町民一人当たり50万5千円
町債（借金）の残高（一般会計分）	
R3年度末	57億0808万円
R4年度末	53億6388万円
R5年度末	50億4697万円（見込）
	町民一人当たり24万8千円

○町民一人当たりは、令和6年3月末の人口、5106名で計算しています。  
○町債の町民一人当たりは、町が実質負担すべき金額により積算しています。

### 公営企業会計の適用について

簡易水道事業および下水道事業は令和6年度より公営企業会計を適用しました。両事業が抱える課題として、「施設などの老朽化による膨大な更新費用」と「人口減少などによる料金収入の減少」の2点があげられます。公営企業会計を適用することで、この2つの課題に対する現状を正確に把握することができ、今後の経営環境の変化に対応することが可能となります。なお、公営企業の前年度予算額は、簡易水道事業特別会計、下水道事業特別会計の令和5年度当初予算額をそれぞれ記載しています。

## 令和6年度の主な事業

- ◆災害対策用車両購入事業**  
 災害による停電時に避難所などにおいて、給電対応を可能とするため、外部給電機能を備えた電動車を導入します。
- ◆朝日の森運営事業**  
 令和5年度をもって閉校した朝日小学校関連施設を地域住民のコミュニティ活動、地域間交流の促進、防災事業などを目的とした複合施設として設置し、運営管理を行います。
- ◆道の駅第二駐車場整備事業**  
 鉄道を撤去し、道の駅第二駐車場と新冠町農協駐車場を接続することで、多目的な活用の可能性を図ります。
- ◆国民健康保険診療所スプリンクラー設置工事**  
 消防法令改正により令和7年6月末までにスプリンクラーの設置が義務付けられていることから、国民健康保険診療所にスプリンクラー設備を設置します。
- ◆節婦町地区津波避難タワー建設事業**  
 日本海溝・千島海溝沿い巨大地震による津波への備えとして、津波到達時間までに避難が困難な節婦町に津波避難施設を整備します。  
**【事業概要】**  
 ○津波避難タワーの建設設計業務ほか
- ◆自転車用ヘルメット購入補助事業**  
 自転車用ヘルメットの着用は、改正道路交通法により令和5年4月から全ての年齢において努力義務化されました。通学などで利用が多い中学生に対し購入費を補助し、着用率の向上を図ります。  
**【事業概要】**  
 ○中学校生徒自転車用ヘルメット購入費を全額補助（限度額5,000円）  
 ※小学生については、町がヘルメットを供与しています